



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 日本橋梁株式会社

上場取引所 東

コード番号 5912 URL <http://www.nihon-kyorvo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井岡 隆雄

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理室長 (氏名) 渡辺 昭二

TEL 03-5859-5621

四半期報告書提出予定日 平成26年2月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	30,343	5.3	1,124	△21.3	1,124	△18.1	2,125	164.9
25年3月期第3四半期	28,828	632.9	1,429	—	1,373	—	802	△94.8

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 2,159百万円 (161.0%) 25年3月期第3四半期 827百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	8.67	—
25年3月期第3四半期	3.27	—

潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

平成25年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益を算定しております。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第3四半期	35,825	18,302	51.1	74.71
25年3月期	39,813	16,143	40.5	65.89

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 18,302百万円 25年3月期 16,143百万円

平成25年4月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。このため前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり純資産を算定しております。

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	6.0	1,200	18.6	1,200	29.3	2,050	363.4	8.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	245,026,782 株	25年3月期	245,026,782 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	35,749 株	25年3月期	35,118 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	244,991,309 株	25年3月期3Q	244,991,860 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しています。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
4. 補足情報	9
(1) 売上高、受注高及び受注残高の状況	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、金融政策による円安がもたらす輸出環境の改善、株価の上昇などを背景に、企業の生産活動の回復や個人消費の堅調な推移が見られるなど、ゆるやかに持ち直しております。

特に公共投資関連の市場におきましては、東日本大震災の復興事業など経済対策に盛り込まれた各種公共事業の発注が進み、平成32年東京オリンピック開催決定に伴う発注量の増加が見込めるなど、明るい兆しも見えてきております。しかしながら、当社グループがその多くを依存している橋梁業界におきましては、依然、多数の企業が僅差で受注を競い合うといった厳しい状況が続いております。

このような状況におきまして、当社グループは、当第3四半期連結累計期間の発注に対応するためグループ全体で受注活動に取り組み、鋼構造物事業におきましては、国土交通省中国地方整備局「下関北バイパス 綾羅木川橋鋼上部工事」などを受注し、建設事業におきましては、内閣府沖縄総合事務局「牧港高架橋下部工（P4、P5）ニューマチックケソン」、北海道開発局釧路開発建設部「一般国道44号 釧路町 オビラシケ川橋上部工事」、独立行政法人鉄道建設・運輸施設整備支援機構「九州新幹線(西九州)、福重高架橋他」などを受注しました。その結果、当第3四半期連結累計期間の受注高としましては282億9千5百万円（前年同四半期比1.3%増）となりました。売上高につきましては303億4千3百万円（前年同四半期比5.3%増）となり、受注残高につきましては351億7千2百万円（前年同四半期比0.5%増）となりました。

損益面では、売上総利益は31億5千1百万円（前年同四半期比6.0%減）、営業利益は11億2千4百万円（前年同四半期比21.3%減）、経常利益は11億2千4百万円（前年同四半期比18.1%減）となり、固定資産売却益4億1百万円、課徴金返還額5億1千万円及び訴訟損失引当金戻入額5億7千2百万円等を特別利益に計上した結果、四半期純利益は21億2千5百万円（前年同四半期比164.9%増）となりました。

なお、セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ① 鋼構造物事業

当セグメントにおきましては、売上高は32億1百万円（前年同四半期比35.5%減）、セグメント損失（営業損失）は5億8千6百万円（前年同四半期はセグメント利益（営業利益）9千3百万円）となりました。

## ② 建設事業

当セグメントにおきましては、売上高は271億4千1百万円（前年同四半期比13.7%増）、セグメント利益（営業利益）は17億2千5百万円（前年同四半期比28.2%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は358億2千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ39億8千7百万円減少いたしました。

流動資産は、前連結会計年度末に比べ11.2%減少し、291億3千7百万円となりました。これは、主に受取手形及び売掛金が5億6千8百万円増加したものの、現金及び預金が45億4千7百万円減少したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ4.5%減少し、66億8千8百万円となりました。これは、当社の播磨工場の一部を譲渡したことにより土地が4億9千5百万円減少したことなどによるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ27.3%減少し、126億8千2百万円となりました。これは、短期借入金が14億5千6百万円及び未払金が14億1千7百万円減少したことなどによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ22.3%減少し、48億4千1百万円となりました。これは、訴訟損失引当金が9億7千6百万円減少したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ13.4%増加し、183億2百万円となり、自己資本比率は51.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年11月13日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の業績予想数値から変更しております。詳細につきましては、本日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
  
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
  
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	14,700,715	10,153,086
受取手形及び売掛金	14,726,214	15,294,853
仕掛品	444,634	654,361
原材料及び貯蔵品	112,599	121,086
繰延税金資産	191,127	196,014
その他	2,678,295	2,730,957
貸倒引当金	△47,083	△13,188
流動資産合計	32,806,503	29,137,172
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,010,480	1,015,563
機械及び装置(純額)	672,221	729,630
土地	4,255,652	3,760,063
その他(純額)	86,363	160,589
有形固定資産合計	6,024,718	5,665,846
無形固定資産		
	35,006	38,614
投資その他の資産		
投資有価証券	703,676	749,409
破産更生債権等	713,059	743,453
繰延税金資産	4,211	6,945
その他	302,534	288,018
貸倒引当金	△776,006	△803,656
投資その他の資産合計	947,475	984,170
固定資産合計	7,007,200	6,688,631
資産合計	39,813,703	35,825,804

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,658,234	1,109,341
短期借入金	3,111,619	1,655,000
1年内返済予定の長期借入金	839,280	280,000
未払金	6,919,143	5,501,894
未払法人税等	195,048	208,298
前受金	1,794,006	1,521,161
預り金	1,424,247	1,238,240
工事損失引当金	1,007,050	708,141
完成工事補償引当金	107,028	156,167
その他	381,344	304,137
流動負債合計	17,437,003	12,682,383
固定負債		
長期借入金	578,270	187,500
繰延税金負債	350,623	367,582
退職給付引当金	4,064,348	4,025,581
訴訟損失引当金	1,182,734	206,676
その他	57,441	53,813
固定負債合計	6,233,418	4,841,153
負債合計	23,670,422	17,523,537
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	453,957	453,957
利益剰余金	14,623,461	16,748,560
自己株式	△6,695	△6,811
株主資本合計	16,070,723	18,195,706
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	72,558	106,559
その他の包括利益累計額合計	72,558	106,559
純資産合計	16,143,281	18,302,266
負債純資産合計	39,813,703	35,825,804

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	28,828,685	30,343,593
売上原価	25,474,989	27,192,562
売上総利益	3,353,696	3,151,030
販売費及び一般管理費		
役員報酬	71,470	80,002
従業員給料及び賞与	840,191	937,970
退職給付費用	61,278	64,502
法定福利及び厚生費	85,137	82,822
不動産賃借料	107,027	99,493
旅費交通費及び通信費	138,843	144,411
研究開発費	202,460	207,322
その他	417,935	410,152
販売費及び一般管理費合計	1,924,345	2,026,677
営業利益	1,429,351	1,124,352
営業外収益		
賃貸収入	6,194	22,746
スクラップ売却益	16,670	35,541
その他	80,104	60,876
営業外収益合計	102,969	119,165
営業外費用		
支払利息	122,498	63,570
賃貸原価	2,616	13,738
その他	33,764	41,503
営業外費用合計	158,880	118,811
経常利益	1,373,440	1,124,706
特別利益		
固定資産売却益	24,713	401,594
課徴金返還額	—	510,507
訴訟損失引当金戻入額	—	572,264
特別利益合計	24,713	1,484,365
特別損失		
減損損失	93,789	23,692
損害賠償損失	48,086	—
設備移設費用	—	43,807
原状回復費用	—	50,000
組織再編費用	—	9,398
特別損失合計	141,876	126,899
税金等調整前四半期純利益	1,256,277	2,482,173
法人税、住民税及び事業税	465,428	366,564
法人税等調整額	△11,255	△9,491
法人税等合計	454,173	357,073
少数株主損益調整前四半期純利益	802,104	2,125,099
四半期純利益	802,104	2,125,099

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	802,104	2,125,099
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	25,256	34,001
その他の包括利益合計	25,256	34,001
四半期包括利益	827,360	2,159,101
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	827,360	2,159,101
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鋼構造物事業	建設事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,962,689	23,865,996	28,828,685	—	28,828,685
セグメント間の内部売上高 又は振替高	117,939	152,652	270,591	△270,591	—
計	5,080,628	24,018,648	29,099,276	△270,591	28,828,685
セグメント利益	93,438	1,345,657	1,439,096	△9,745	1,429,351

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△9,745千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費および連結子会社（㈱白石ホームズ）における発生費用などであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

建設事業セグメントにおいて、連結子会社でありますオリエンタル白石株式会社東京支店の工事事務所について、土地の占用廃止・返還を決定したことに伴い除却予定となった固定資産の帳簿価額及び固定資産の返還に係る原状回復費用見積額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては93,789千円であります。

## II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	鋼構造物事業	建設事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,201,761	27,141,831	30,343,593	—	30,343,593
セグメント間の内部売上高 又は振替高	49,920	17,672	67,592	△67,592	—
計	3,251,682	27,159,503	30,411,185	△67,592	30,343,593
セグメント利益又は損失(△)	△586,577	1,725,726	1,139,149	△14,796	1,124,352

(注) 1 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額は、各セグメントに配賦していない全社費用△14,796千円が含まれております。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費および連結子会社（㈱白石ホームズ）における発生費用などであります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

重要な減損損失はありません。

## 4. 補足情報

## (1) 生産、受注及び販売の状況

## I 売上高

区 分	前第3四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	増 減		前会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業	4,962	3,201	△1,760	△35.5	6,443
建設事業	23,865	27,141	3,275	13.7	33,195
合 計	28,828	30,343	1,514	5.3	39,638

## II 受注高

区 分	前第3四半期 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	増 減		前会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業	5,703	3,548	△2,154	△37.8	7,108
建設事業	22,238	24,746	2,508	11.3	33,868
合 計	27,941	28,295	353	1.3	40,977

## III 受注残高

区 分	前第3四半期 (平成24年12月31日)	当第3四半期 (平成25年12月31日)	増 減		前会計年度 (平成25年3月31日)
	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	金 額 (百万円)	増減率 (%)	金 額 (百万円)
鋼構造物事業	6,150	6,421	271	4.4	6,075
建設事業	28,844	28,751	△93	△0.3	31,146
合 計	34,995	35,172	177	0.5	37,221

以 上